

平成22年度オフサイトセンター活動訓練（事前訓練）視察の感想

日時：平成22年9月17日（金）

場所：新潟県柏崎刈羽原子力防災センター（オフサイトセンター）

参加委員：8名

○委員

1. 防護対策の流れと構成部門の概略が理解できた。気象庁、航空自衛隊、陸上自衛隊、海上保安庁、新潟県警、市、村 etc、柏崎刈羽原子力発電所以外の組織との連携した訓練なので「ネットワーク」が構築されていることが認識できた。
2. 流れた情報（訓練中の）は、よく聴こえなかったのでコメントはない。
3. プラント情報の収集 etc プラント班の活動開始から避難計画等の実施発信まで、どれくらいの所要時間を前提としているのか。
今回の訓練では以下ではあるが。
 - a. プラント情報の収集開始 9：45
 - b. 全体会議 10：20～
 - c. 避難計画等の実施の発信現実には、避難計画の発信は、一括ではなく、内容により分割・個別の発信になるのではないか。
4. JNES 主催による今回の訓練が前回の5年後の実施とのことである。各部門の要員・キーマンも入れ替わるので、2～3年おき位に行い、ネットワークの健全性をキープする必要があるのではと思います。

○委員

5年振りの事前訓練を見せて頂いた。思いのほか静かでおとなしい訓練だった様に思う。住民の目からすると、情報伝達の仕方やスピードにおいて、まだまだ研究の余地ありの感。

防災訓練を見せて頂いていつも感じる事は、どこが主体の訓練であっても、情報をつなぐ先との連携が要となる様に感じる。

訓練は、機会があればあるほど良く、同じ体験は二度とないと思うので、実際に情報のやり取りをする先へテレビでも電話でも無線でもつないでいただきたいと願っています。

そうすれば、年に2～3度の機会が担当者レベルで持て、関係者間の接触

する機会も増し、問題意識や、顔を合わせる安心感が生まれるのではないで
しょうか。

出された課題も公表して頂き、住民との課題共有も大切かと思えます。

○委員

- ・会場内は広いスペースを取っており、各班の配置も整然として対応も的確
に行っていて、良い印象を受けた。
- ・もう少し多くの住民や町内会、関係団体の参加者が欲しかった。
- ・各部署の連携を確認する訓練という位置づけでしたが、住民に周知する、
タイミング・機能・情報の出し方等々訓練に反映して欲しかった。

○委員

奇しくも当日朝のニュースで、『原子炉内の放射線量が通常の2,100倍』
を見てオフサイトセンターへ。

難しいことはわからないが、この数値は明らかに普通ではない。だとした
ら、やはり原子力災害の防災訓練は必要。しかも想定される事は全て訓練に
盛り込んで欲しいと思った。

視察での感想は、マスコミ、地域の会のメンバーの他は、町内会長さんお
一人のみの見学であった。もっと柏崎市は力を入れて保安院との連携を取っ
て、市民、住民へのPRをしたら良いのではないだろうか。あふれるばかり
のギャラリーの人数であれば、防災訓練も今ひとつ熱が入るのではないかと
も思う。

地域の会委員同士の話で、「いつ」、「どのような内容で」広報を流すかが重
要との見解が一致した。個人的には自らも防災（原子力）を考え、自力で逃
げる体制を考えようとも常々思う。行政の指示を待つのは、かなり時間がか
かりそうだから。

○委員

事前訓練と言うこともあり、どのような指摘が適切なのかよく分からないが、
以下について感想を述べたい。

- 1、事前訓練ということなので、これでいいんだと言われるかもしれないが、
会場内が一つになり緊張感を持って事態に対応するためには、開始と同時に
場内放送が必要ではないか。
- 2、視察者の席まで設けられていながら、現状についてギャラリーは進行状態

- を把握することは出来なかった。これも場内放送が必要では。
- 3、事前訓練といって、覆面状態で訓練するということでしたが、事故想定くらいは視察者にも分かる状態が必要だった。紙による配布で今後の事故の進展についての予測も合わせて知らせるべきだ。
 - 4、訓練に直接従事している者も、事故からの今後の進展を考えられる人は少ないのではないかと思う。(原発の仕組みとして事故の進展を理解できるようにすべきでは)
 - 5、悠々と会議をしてそこで指示・確認が行われれば全てが上手くいくとは思われない。
 - 6、季節を外れて大雪と事故を関連させるのは無理があるのではないか。
 - 7、2キロ、3キロ圏の住民を EPZ の圏外に避難させることは理解できるが、圏内にいる者への周知はどうするのか。住民理解はどう取り付けるのか。
 - 8、避難所への避難から、圏外への避難を行うことになっているが、果して車両等の確保が出来るのか大きな疑問がある。
 - 9、原子力防災だけが国の関与で対応することになっているが、県・地元自治体にさらに国が加わることで手続きだけが複雑になっているのではないか。災害対策基本法に基づいた従来のあり方に戻すべきではないか。

○委員

せっかく一箇所に集まっているのだから、そこにいる全員がわかりやすいような掲示板、放送案内が、あってもよいと思いました。

共通情報は、パソコン等で流れているのですが、せっかく、集まっているのだから、

- 1、交通状況、通行止め、渋滞状況、積雪の様子。など、
- 2、広報について、住民には、どこまでお知らせしているのかなど。
- 3、災害情報など